

## 第44回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会

### 会長挨拶

本日ここに、第44回全国陸運労災防止大会を開催するに当たり、一言、ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、ご多用中のところ、全国各地から多数のご参加をいただき、このように盛大に本大会を開催することができましたことを、まずもって、厚く御礼申し上げます。

また、本大会には、厚生労働省労働基準局尾澤英夫安全衛生部長様、国土交通省自動車交通局山崎篤男安全政策課長様、警察庁交通局倉田潤交通企画課長様、そして、開催地であります東京都の産業労働局雇用就業部伊藤憲一労働環境課長様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜りましたことを誠に光栄に存じ、厚く御礼を申し上げます。

さらに、本日は、労働災害の防止に顕著な功績をあげられました事業場、団体、個人の方々への表彰並びに顕彰を行うこととしております。受賞されます皆様方には、これまでのたゆまぬご努力、ご精進に対し、深く敬意を表しますとともに、今後の益々のご活躍を祈念申し上げます。

さて、陸運業における労働災害は、支部、会員事業場の皆様方のたゆまぬご尽力もあり、長期的には減少傾向にあります。特に死亡災害につきましては、平成18年に初めて年間200人を下回り、さらに平成19年には196人へと減少して、これまでの最少となったところであります。

また、死傷者数も年間1万3千人台前半へと減少してきております。しかしながら、死傷者数は、平成18年以降、前年を若干上回る数となっており、平成20年もこのような傾向がうかがえ、死傷者数が横ばいしないし増加に転ずるのではないかと懸念されるところであります。

当協会は、本年度、新「労働災害防止5か年計画」を策定し、平成24年度までの計画期間中に、労働災害による死亡者数を20%以上減少させ、また、死傷者数も15%以上減少させるとともに、過重労働による健康障害を防止するなどの計画目標を定めたところであります。

本年度は、この5か年計画の初年度であり、計画内容の周知に努めるとともに、目標達成に向けて、「荷役運搬作業の安全の確保」、「交通労働災害の防止」、「健康確保対策の推進」などを重点として、本部、支部、会員事業場の皆様方が一丸となり、積極的な労働災害防止活動を展開することとしているところであります。

特に、先程申し上げましたような労働災害の動向を踏まえて、死傷災害の多くを占める荷役災害の防止により一層強力に取り組んでまいりたいと考えております。

陸運業界は、物流ニーズの多様化が進む中で、運賃水準の低迷、軽油価格の高騰や環境問題への対応など様々な課題が山積し、厳しい経営環境にあります。

こうした環境を踏まえつつも、労働災害を防止し、働く人々の安全と健康を確保していくことは、時代を問わず基本中の基本であります。これは、企業や陸運業の発展のみならず、我が国の経

済発展や国民生活の安定に資するためにも、業界をあげて取り組まなければならない最重要課題であります。

本大会が新「労働災害防止5か年計画」の初年度における大会であることを心に刻み、皆様方とともに、新たな決意のもと、総力を挙げて労働災害防止活動を展開してまいりたいと考えております。

最後に、本大会開催に大変ご尽力をいただきました東京都支部をはじめ、関係者の方々に厚く御礼申し上げますとともに、本大会にご参加の皆様方の益々のご健勝とご活躍、さらには、企業と陸運業界の発展を心から祈念し、私の挨拶といたします。

平成20年11月18日

陸運労災防止協会会長

岡 部 正 彦